

11 ('06 小樽商科大)

【難易度】…標準

p, q を実数とし, $p < q$ とする. さらに, 3 つの数 $4, p, q$ をある順に並べると等比数列となり, ある順に並べると等差数列となるとする. このとき, p, q の組 (p, q) をすべて求めよ.

【テーマ】: 等差中項・等比中項

方針

全パターンを場合分けで求めることもできますが, p, q の符号を考えると, 3 数の中項はどれかが明確になるので, 場合分けが減らせます.

解答

(i) $0 < 4 < p < q$ のとき,

$$4 + q = 2p \cdots \cdots \textcircled{1}$$

が成り立ち, このとき, 等比中項は p であるから,

$$4q = p^2 \cdots \cdots \textcircled{2}$$

①, ② より,

$$p^2 - 8p + 16 = 0 \iff (p - 4)^2 = 0$$

よって, $p = 4, q = 4$ となり, 不適.

(ii) $0 < p < 4 < q$ のとき,

$$p + q = 8 \cdots \cdots \textcircled{3}$$

が成り立ち, このとき, 等比中項は 4 であるから,

$$pq = 16 \cdots \cdots \textcircled{4}$$

③, ④ より, p, q を 2 解にもつ 2 次方程式は,

$$x^2 - 8x + 16 = 0 \iff (x - 4)^2 = 0$$

よって, $p = 4, q = 4$ となり, 不適.

(iii) $0 < p < q < 4$ のとき,

$$p + 4 = 2q \cdots \cdots \textcircled{5}$$

が成り立ち, このとき, 等比中項は q であるから,

$$4p = q^2 \cdots \cdots \textcircled{6}$$

⑤, ⑥ より,

$$q^2 - 8q + 16 = 0 \iff (q - 4)^2 = 0$$

よって, $p = 4, q = 4$ となり, 不適.

(iv) $p < 0 < 4 < q$ のとき,

$$p + q = 8 \cdots \cdots \textcircled{7}$$

が成り立ち, このとき, 等比中項は p であるから,

$$4q = p^2 \cdots \cdots \textcircled{8}$$

⑦, ⑧ より,

$$p^2 + 4p - 32 = 0 \iff (p + 8)(p - 4) = 0$$

$p < 0$ であるから, $p = -8, q = 16$ となり, これは条件を満たす.

(v) $p < 0 < q < 4$ のとき,

$$p + 4 = 2q \cdots \cdots \textcircled{9}$$

が成り立ち, このとき, 等比中項は p であるから,

$$4q = p^2 \cdots \cdots \textcircled{10}$$

⑨, ⑩ より,

$$p^2 - 2p - 8 = 0 \iff (p - 4)(p + 2) = 0$$

$p < 0$ であるから, $p = -2, q = 1$ となり, これは条件を満たす.

(vi) $p < q < 0 < 4$ のとき,

$$p + 4 = 2q \cdots \cdots \textcircled{11}$$

が成り立ち, このとき, 等比中項は 4 であるから,

$$pq = 16 \cdots \cdots \textcircled{12}$$

⑪, ⑫ より,

$$q^2 - 2q - 8 = 0 \iff (q - 4)(q + 2) = 0$$

$q < 0$ であるから, $q = -2, p = -8$ となり, これは条件を満たす.

以上より, 求める p, q の組は,

$$(p, q) = (-8, 16), (-2, 1), (-8, -2) \cdots \cdots (\text{答})$$

◆ ◆ ◆
【解説】

(iv), (v), (vi) では, 等比中項がどれになるかよく考えましょう. 等差数列は大小関係ですぐに等差中項がわかりますが, 等比数列は, 同符号なら大小のままですが, 異符号の数がある場合は, 大小のままにはなりません. それは, 公比が負になっているためです. したがって, (iv), (v) では, p が, (vi) では 4 が等比中項となります.

$p, q, 4$ とその大小関係をとるあえず無視して計算を行い, 最後に大小関係をつけて求めると次のようになります.

【別解】

3 数 a, b, c がこの順に等差数列をなすとき,

$$a + c = 2b \dots\dots \textcircled{A}$$

が成り立つ. さらに, a, b, c を適当に並べたものが等比数列をなすとき, \textcircled{A} が a, c に関して対称であるから, 等比中項は a, b のいずれかを考えればよい.

(i) a が等比中項のとき,

$bc = a^2$ であるから, \textcircled{A} を用いて c を消去すると,

$$a^2 + ba - 2b^2 = 0 \iff (a + 2b)(a - b) = 0$$

を得るが, $a = b$ のときは, $a = b = c$ となるので不適. したがって, $a = -2b$ のときを考える. このとき, $c = 4b$ となるので,

- ・ $a = 4$ のとき, $b = -2, c = -8$ であるから, $(p, q) = (-8, -2)$
- ・ $b = 4$ のとき, $a = -8, c = 16$ であるから, $(p, q) = (-8, 16)$
- ・ $c = 4$ のとき, $a = -2, b = 1$ であるから, $(p, q) = (-2, 1)$

(ii) b が等比中項のとき,

$ac = b^2$ であるから, a, c を 2 解とする 2 次方程式は,

$$x^2 - 2bx + b^2 = 0 \iff (x - b)^2 = 0$$

ゆえに, $a = b = c$ となるので, 不適.

以上より, 求める p, q の組は,

$$(p, q) = (-8, 16), (-2, 1), (-8, -2) \dots\dots (\text{答})$$